

平成12年度

稻作情報 浜通り版
第4号

平成12年7月19日

「ふくしま新世紀農業・農村確立運動」県推進本部

発行：福島の米稻作情報編集会議

編集：福島県農業試験場相馬支場

直播栽培等新技術の導入と地域特性を活かした米づくりを進めよう！

いもち病防除と高温登熟対策の徹底を！！

- - 生育は8日程度早い - -

当面する技術ポイント

今後の生育予想

- 1 年に比べ、生育が早く、草丈は長い。7月に入り葉色の低下が著しいので、有効茎歩合の低下が予想される（表1）。
- 2 幼穂の発育は8日程度進んでおり、平坦部のひとめぼれ及びいわき南部のコシヒカリ、山間部のまいひめは、7月5日前後に幼穂形成期に達し、現在は減数分裂期終期と予想される（表4）。一方、相双のコシヒカリも7月14日頃幼穂形成期に達し、出穂は8月7日前後になる見込みである。

いもち病防除

- 1 葉いもちは各地で発生が確認され、進展型病斑も多いので、今後も防除を徹底する（表3）。
- 2 葉いもち用粒剤を6月中に散布した水田では、薬効の切れる時期にきており、散布剤等で予防的に防除を行う。
- 3 穂いもち用粒剤を散布予定の場合は、剤及び生育ステージを確認して、適期に散布する。

倒伏防止と高温登熟対策

- 1 コシヒカリの穂肥適期は7月5半旬と予想されるが、栄養診断に基づいて、施用の時期・量を決定する（表5）。また、追肥を行う場合は、必ずいもち防除も併せ行う。
- 2 幼穂形成期の草丈が75cm以上あったコシヒカリは、倒伏軽減剤の施用を検討する（表6）。
- 3 昨年同様、本年も高温登熟が予想されるので、栄養凋落には十分注意する。また登熟期高温に経過する場合には、用水量が確保される範囲で掛け流しを実施する。
- 4 カメムシ類の常発地及び前年の多発地では、畦畔の草刈（出穂前10日まで）及び防除を行う。

低温対策

- 1 20以下の低温が予想される場合は、深水管理で対応する。
- 2 深水管理の水深は、減数分裂期は15~20cm必要である。

直播栽培のポイント

A 直播共通

- 1 葉いもちや紋枯病、イネツトムシの発生に注意し、適期に防除する。
また、粒剤等による穂いもち防除にあたっては、移植栽培より生育ステージが遅いので注意する。
- 2 幼穂形成期（7月中旬）以降低温が予想される場合は、移植栽培に準じて深水管理を行う。

B 淀水直播

- 1 中干しは幼穂形成期まで継続し、移植栽培より強めに行う。
- 2 穂肥は幼穂形成期~減数分裂期に行うが、葉色が濃い場合や株元が不安定な場合、苗立ちが過剰な場合は穂肥を遅らせるか施用しない（表5）。

C 乾田直播

- 1 中干しは行わず、浅水~間断灌漑を継続する。
- 2 穂肥は幼穂形成期に行うが、葉色の低下が著しい場合には補い肥を施用する。

大豆作のポイント

- 1 明渠の補修や新たな設置により、開花後の湿害対策を万全とする。
- 2 残草のある圃場では、早急に茎葉処理剤や中耕により除草する。
- 3 生育過剰な圃場を除き、最終培土時に肥効調節型肥料（70日タイプ）を用いてN0.6kg/a追肥する。
- 4 アブラムシや食葉性害虫の発生に注意し、的確に防除する。

気象経過と今後の予想

1 気象経過：6月下旬以降気温は高めに推移。7月8日の台風により海岸部を中心に冠水被害発生。

2 今後の予想

7月22日～7月28日：前線や低気圧の影響を受け、曇りや雨の日もありますが、平年同様晴れる日が多い見込みです。平均気温は高いでしょう。

7月29日～8月11日：高気圧に覆われ晴れる日が多いですが、低気圧の影響で、一時曇りや雨の日がある見込みです。平均気温は平年並みの見込みです。

生育状況

表1 生育状況(相馬支場、各普及センター作柄判定圃)

品種名	年次	7月15日		出葉	各地域普及センター		判定圃場	草丈(cm)	茎数(本/m ²)
		草丈(cm)	葉数(葉)		(本/m ²)	502(日)			
初 星	2000	76.2	10.9	709	36.4	7. 6	原鹿本年	79.3	547
	1999	72.6	10.4	767	35.6	7.13	島平年	62.1	557
	平年	68.7	10.3	669	38.3	7.12	飯本年	61.6	480
ひとめぼれ	2000	77.2	11.4	721	37.7	7. 2	町館前年	-	-
	1999	71.7	10.5	788	35.8	7.10	双浪本年	85.8	543
	平年	66.0	10.5	663	39.4	7.10	江平年	64.2	565
コシヒカリ	2000	75.1	10.9	540	31.2	7. 5	葛本年	70.8	288
	1999	73.6	10.2	762	32.3	7.13	葉尾前年	62.2	434
	1994	73.4	10.8	676	33.5	7. 6	い勿本年	69.3	499
コシヒカリ	1990	75.0	10.8	740	-	7. 5	わ来平年	63.3	582
	1987	62.8	10.7	774	-	7. 9	わ三本年	66.6	543
	平年	68.9	10.4	603	35.9	7.11	き和平年	56.8	627

特記事項

作柄判定圃の品種

飯館：あきたこまち

葛尾：まいひめ 三和：初星

その他：コシヒカリ

作柄判定圃の調査月日

原町 7月12日 双葉 7月5日

いわき 7月14日

相馬支場の生育

出葉が早く、草丈は長い。

幼穂形成は8日程度早い。

管内の生育

生育は進み、草丈は長い。

葉色は全般に淡い。

台風3号により葉先枯れ発生。

表2 直播圃場の生育概況(品種：ひとめぼれ 7月14日調査)

調査地点	直 播 の 種 類	年次	播種期	苗立数	茎数	草丈(cm)	葉数(葉)	特記事項
		(月日)	(本/m ²)	(本/m ²)				
農試相馬支場	早 播 乾田条播	2000	4.14	114	509	63.7	9.9	
		1999	4.15	174	614	52.5	10.1	
原町市高	標準播 乾田条播	2000	4.26	161	618	61.0	9.5	
		1999	4.23	217	647	50.9	9.4	
相馬市柏崎	乾田条播	2000	4.17	193	627	58.7	9.2	
	乾田条播	1999	4.23	143	593	48.6	9.4	
浪江町立野	乾田条播	2000	4.15	181	549	54.4	-	
	乾田条播	2000	4.16	171	411	56.0	-	コシヒカリ
いわき市大浦	湛水条播	2000	5. 1	77	487	66.6	-	まなむすめ

当面する技術ポイントの基礎テ - タ

表3 浜通りの葉いもち発生状況

表4 本年の出穂期予想(農試相馬)

調査地点	調査発生発生圃場数	圃場率	品種名	幼穂形成始期		幼穂形成期		減 数	出穂期
				本年	平年	本年	平年		
北 部	18	3	17	初 星	7. 1	7. 9	7. 3	7.12 (7.12-7.16)	(7.26) 8. 4
中 部	16	4	25	ひとめぼれ	7. 3	7.10	7. 5	7.13 (7.15-7.19)	(7.29) 8. 6
南 部	16	8	50	コシヒカリ	7.12	7.20	7.14	7.23 (7.24-7.28)	(8. 7) 8.16
山 間 部	10	3	30	注) 幼穂形成始期は幼穂長1mm、幼穂形成期は2mmに主茎の80%が達した日					

注) 病害虫防除所 7月上旬調査

表6 倒伏程度2以上の危険域

品種名	生育ステージ	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色S502
ひとめぼれ	減数分裂期	70 <	800 <	41 <
コシヒカリ	幼穂形成期	75 <	650 <	36 <
コシヒカリ	減数分裂期	85 <	600 <	33 <

あぜ道

今年も暑い。暑い年は米がうまい。しかし、1等米に仕上げて初めて食味が評価される。ホソハリくんは2倍強、モンガレくんもクモの巣ファッショーンで大はしゃぎ、降雨後増えるイモチくんも危ない。本当に喜べる秋にしよう。

畑を借りりイタリアン野菜を作ってみた。JA出荷してみたら1kg300円に換金でき嬉しかった。何故か他の野菜にも興味が出てきた。あなた(水稻単作農家)もライフスタイルにあった園芸作物にチャレンジしてみませんか。